

大俣小学校
「学力向上実行プラン」

- 主体的に問題を解決していくことができる児童の育成
- 児童が主体的に学習できる授業の実践

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字や計算の練習には真面目に取り組む児童が多い。 ●語彙力が不足していたり、言葉の意味を理解せず使ったりしている。	・言葉を豊かにし、基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、それらを活用することができる。	・音読, 視写・聴写, 日記, 作文の指導を継続する。 ・言葉辞典の内容を充実させる。 ・朝の活動で読書の時間を充実させるとともに, 多読賞の設定を見直す。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを書いたり話したりすることに意欲的な児童が増えてきた。 ●自信のなさから自分の意見を全体の中で発表することができない児童もいる。 ●他の児童の意見と自分の意見を比較・関連付けることが難しい。	・相手が聞き取りやすい声の大きさにしたり, 発表する向きを変えたりすることができる。 ・自分の意見と他の児童の意見を比べながら, より良い意見を考えることができる。	・集会活動等を利用し, 児童会活動や学級活動で取り組んだことを発表する場を設ける。 ・教室で安心して児童が発言できるような環境作りをする。 ・児童が思考ツールを使えるようになるよう, 教師が児童から出た意見をまとめるときに板書で思考ツールを使う。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○教師に指示されたことは, 一生懸命取り組むことができる。 ●自ら予想を立てることができなかつたり, 発想が乏しかったりする。	・「なぜ?」「どうして?」と自分から積極的に学びに向かうことができる。	・児童の興味・関心を途切れさせることがないように, 授業の導入を工夫する。 ・タブレットやデジタル教科書を効果的に活用する。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

